

東北地区包装関連産業特集

5〜7面

魅力溢れる企業が集う地域

「つながり」を大事に

魅力ある企業で溢れている東北6県(青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)は、包装産業を支えている地域といえる。本州の約3割の面積を占めている東北地域では、

企業間で支援体制を構築するなど「つながり」を大事にしている。今特集では、東北6県の産業基盤を支えている企業の情報を発信する。

三信包装 福地工場に資材倉庫完成 生産増強、BCPに対応

船場化成グループのフレーションフィルム製造加工の福地工場(青森県八戸市、〒0178-433(青森県南部町)敷地・6651)は、工場の生産量の増加に伴

い倉庫スペースが手狭になっていたことに対応したもので、併せて物流の効率化と将来的な生産体制増強への対応を図った。

完成した資材倉庫の面積は680平方メートルで、既存施設と合わせて同工場の延べ面積は3564平方メートルとなった。主に同工場で使用する原料と完成した製品の保管に活用する。

倉庫の完成により原料調達から製造、出荷までの流れが合理化される。近年の猛暑に対応する24年には福地工場の空調設備を増強させ、従業員の働きやすい環境



8月25日に引き渡しを受けた資材倉庫



工場建屋とフィルム棟

軟に対応できる体制が整った。さらに災害などの緊急時に備えた原料確保が可能となり、BCP(事業継続計画)に対応した安定的な生産体制を実現。また、本社倉庫および市川倉庫(八戸市市川町)とよび同じくグループ企業の横持ちを解消し、各拠点の機能を見直す。同社は2021年8月に船場化成(徳島市)と資本提携。グループシナジーも加わり、関東方面を中心に新たな案件を受注するなど需要が増加しており、この3年は生産量が年10%前後のペースで伸びている。生産の中核を担う福地工場ではかねて設備増強や人員体制の整備を進めており、今回の資材倉庫建設も増産基盤を固める布石といえる。

また同社は職場環境の改善にも注力している。近年の猛暑に対応する24年には福地工場の空調設備を増強させ、従業員の働きやすい環境を整えた。法令対応を先取りした熱中症対策に加え、快適な環境が生産効率の向上や不良削減にもつながっている。経営面でも安定した収益を継続して確保し、船場化成、お